

日本色研事業の新しい試み

日本色研事業株式会社

日本色研事業株式会社は、一般財団法人日本色彩研究所による監修のもと、「日本色研配色体系（PCCS®）」に基づき、初心者からプロフェッショナルまで利用可能なオリジナルの色彩資料を提供し、色彩教育や文化の発展、企業活動に貢献することで、創業60周年を迎えることができました。最近、教育現場のデジタル化が進む中、知識を実務に活かせる製品が求められています。これに対応すべく、弊社ではリアルとデジタルを融合させる取り組みを積極的に進めています。具体的には、長年親しまれている「新配色カード199」をリニューアルし、PCCS 各色をCMYK値やsRGB値、HEX値に対応させることで、より現場で使いやすいツールとなり大変好評を得ています。さらに、急速に進化するデジタル印刷技術を活用し、多様化する顧客ニーズに応えるため少ロット生産による多品種少量生産方式を導入しました。これにより、必要な色の精度に基づく価格帯で3つの新しいシリーズを展開していきます。

◆PCCS® Live series

通常の印刷より広色域と高彩度をカバーし、コストパフォーマンスに優れたデジタル印刷シリーズ

◆PCCS® Fine series

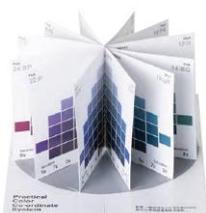
10色の特色インクを用いた超高精細高画質プリンターで製作された、高い色再現性の色票シリーズ

◆PCCS® High spec series

塗料調色による高精度の色再現性を活かした、最高品質の色票で製作されたシリーズ

また、企業として社会貢献に向けたSDGsに取り組んでおり、一般財団法人日本色彩研究所の協力を得ながら、ユニバーサルカラーに対応した製品開発やプロジェクトを進めていますので、その成果にご期待いただければ幸いです。

今後も、製品やサービスの品質を高め、色彩教育に携わる皆様に選ばれやすく、また色彩を学習する方々が楽しく学べる製品を開発してまいりますので、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



PCCS® ハンディ色立体 Live
〈ポップアップ色〉

紙製のポップアップ式で広げると色立体が立ち上がります。手のひらサイズで、折りたたむ事ができ、持ち運びにも便利です。



PCCS® 12色相 色立体 Live

UVインクジェット・デジタルプリンティングにより高精度の色をアクリル板に直接印刷した、堅牢な被膜により耐久性にすぐれた色立体です。



新配色カード199
〈2024.2.10 リニューアル〉

インデックスには、PCCSの色をマンセル、CMYK、sRGBに対応させて掲載し、ビジュアルデザインに活用できるようになりました。

今回のトピック カラスクールの現場から Part 1

本号と第10号では、「カラスクールの現場から」というテーマで2回に渡りカラスクールにて講師をされている会員の方にご執筆いただきます。Part1は、色に関する著書も多く出版されている橋本実千代さんです。橋本さんには色いろサロン第9回にもご登壇いただき、トピックについてお話しいただく予定です。

時代の変化と共に進化するカラスクールの役割

橋本 実千代

この30年を振り返ると、カラスクールに求められる需要の変化を感じます。1990年より色彩検定（当時の名称はファッションコーディネーター色彩能力検定）、1995年から東京商工会議所が施行するカラーコーディネーター検定試験が始まり、社会人向けの資格取得スクールやパーソナルカラーを教えていた個人が、検定対策コースを行うようになり、専門学校や大学でも検定対策を含んだ授業や課外講座を取り入れるところが多くなりました。私が勤めているクリエ・スクールでは当時、ある大学の課外講座で60名以上の申し込みがあり、クラスを2つに分け、講師を2人派遣したこともあったほどです。通学コースでは、色をどのように仕事にしていくかを学ぶコースなどが人気でした。その後、徐々に社会人の受講が減り、2010年から4年間は求職者支援訓練講座を開講しました。現在社会人向けには通信講座がメインとなっています。コロナ過を迎え、大学の課外講座はオンラインになり、その後対面に戻すところと戻さないところに分かれました。変化する環境に合わせて動くことが、カラスクールにも求められています。



新宿西口にあるクリエ・スクール



2022年度 団体奨励賞を受賞



プロフィール

橋本実千代(ハシモト ミチヨ)

婦人服地卸売業勤務を経て、店舗ディスプレイと色彩教育に携わる。

1998年より株式会社日本教育クリエイト クリエ・スクールにて、大学や企業、社会人向けの教育活動を行っている。自身の病気を活かして江東区難病団体連絡会の会長としても活動中。人工透析の患者会でも色の楽しさを広めている。

色彩検定協会認定色彩講師 日本色彩学会会員 跡見学園女子大学兼任講師

共立女子短期大学非常勤講師

会員リレーコラム

「いろいろ」を大切に ～色彩検定 UC級 ノススメ～

学校現場では、ICT機器を使った授業が増えました。電子黒板に書き込んだり、プレゼンテーションソフトで作った資料を提示したり、子どもたちも一人一台端末で学習を進めています。ちょうどGIGAスクールが始まったところ、タブレットや電子黒板が「見えにくい」と相談を受けました。白い画面に細いフォントの文字。明度差のない提示資料。色覚特性に配慮のない配色。デジタルでできることが増え、たくさんの色を使うこともできるようになったからこそ、色に対する知識を私たち教員はもっと学んでいくべきだと思います。色彩検定 UD級 を様々なところで紹介させていただいております。色はいろいろ、見え方、感じ方もいろいろ。その「いろいろ」を大切にしていきたいです。



岩野 淳子（イワノ アツコ）
栃木県小山市立間々田小学校 教諭

第8回色いろサロンを開催しました

2024年10月25日（金）に、第8回となる『色いろサロン』を開催しました。「美術・色彩教育は科学技術の進歩と共存できるのか」をテーマとし、高橋延昌さんにお話しいただきました。

<参加者からのご感想>（一部抜粋）

『AIと色彩がどのように共存していくかはこの先の課題であり、共存するために考えることがたくさんあることを実感しました。』

『最近の小中学校ではタブレットなどを通じた学習を取り入れているため、著作権やリスクマネジメントについても教育機関での指導を通し、ルールを守ってAI技術を利用していけたらよいと感じました。』

『白黒写真をカラーにすることはたしかにその時の情景を自分の見ている世界の色に合わせて、より身近に感じたり心に働きかけるかもしれないが、私自身はその当時の技術や表現はそのままではよいのではないかと思った。白黒の写真だからこそ感じるこのことのできる、味わいがあると思う。AIをどのように活用していくかは人間に委ねられており、教育の現場でも大切なことを見失わないように活用していく必要があると思った。』

第9回は1月31日（金）20時より開催予定です。たくさんのご参加、お待ちしております。

これまでの『色いろサロン』のトピックと登壇者一覧

http://shikikyo.jp/backnumber/iroirosalon_01.html

Color Circleのバックナンバーはこちら（PDFでダウンロードできます）

http://shikikyo.jp/backnumber/color_circle_01.html

オンラインセッション 第9回『色いろサロン』のご案内

Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』の第9回を開催いたします。今回はテーマを『カラスクールの現場から Part1』として、執筆者の方に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加も大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2025年1月31日（金）20：00～21：00

●方法：ZOOMによるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

・ Color Circle vol.09のトピック執筆者によるお話

橋本実千代さん

名取初穂さん（司会）

・ トピックに関する質疑応答

・ 参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/3ruxy2DdPZFjq3J26>

参加申込・参加費納入期限：2025年1月29日（水）

⇒1月30日（木）にZOOMのURLをお送りいたします。

※sikisaikyoiku@gmail.comからのメールが迷惑メールに分類されないよう、設定をお願いいたします。

※1月30日中にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、事務局までご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局 (sikisaikyoiku@gmail.com)

日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

(名取初穂, 島田由紀子, 手塚千尋, 中島千絵, 宮野周, 大内啓子, 佐々木三公子)

